

高等部 校内実習（前期）

校内実習は6月2日（月）から6月13日（金）までの10日間行われました。実習を行う班は、普段の作業学習班と同じですが、普段の作業学習とは違い朝礼から反省会までの1日通しての実習となります。それぞれの班ごとに目標を決めて、正確な作業を心がけながら、集中して取り組んでいる姿が見られました。

〈農業・サービス班〉

農業・サービス班では千駒酒造（株式会社）様よりギフト箱の箱折りの委託作業をいただき、期間中に約600箱の（ギフト）箱折りを行いました。実際に商品を入れるものなので、1つ1つ衛生面に注意しながら丁寧に作りました。また、農作業ではじゃがいもやかぼちゃ苗の手入れなどを行いました。時間を守る、仕事と休み時間のメリハリをつける等それぞれの生徒が目標を意識して10日間の実習に取り組むことができました。



〈縫製班〉

集中して丁寧に製品作りを行うこと、あいさつや返事を大きな声で言うことを目標に掲げて2週間の校内実習に取り組みました。実習期間を通じて技術面が向上し、たくさん製品を作ることができました。また、声の大きさや適切な言葉遣いに対する意識も高まりました。



〈窯業班〉

窯業班ではよりよい製品を作ることと、きちんとした態度で作業に臨むことを目標にしました。2週間の実習の中で時間を意識した行動が身についたり、新しい工程を覚えたりして、皿や器、花瓶など300余りの製品を作ることができました。



〈手工芸班〉

前期は主に紙すき製品の製作を行いました。校内実習期間中の製作目標を立て、ひとりひとりが分担された工程で役割を果たしながらポチ袋やのし袋を製作しました。



〈木工班〉

今回の校内実習では、自分で確認し正しい言葉つかいで伝えたり伝わりやすい声の大きさを報告、相談をしたりすることを目指しました。1年生は初めての1日の作業に疲れ気味だったにもかかわらず、自分のペースで2週間休むことなく実習を行うことができました。2、3年生は慣れているため自分から確認をしてから報告ができ、丁寧に作業をすすめることができました。2週間でイス5脚、ミニサイズプランター5台、中サイズプランター3台、大サイズプランター1台をつくりあげることができました。



高等部 施設見学会



太陽の国 ゆうあい工房

障害者支援施設 福島県かしわ荘

6月19日に高等部1組から4組までの生徒Bグループ5名が施設見学会を行いました。

ゆうあい工房では、施設についての話を聞いた後、所員の方の案内で、陶芸体験やビーズアクセサリー作りの体験などをしました。一方、かしわ荘では、施設を利用されている皆さんと空き缶つぶしなどの体験をしました。

生徒たちはこれらの学習を通して、卒業後の施設利用や生活について関心をもつことができました。